

2016年 入社式開催

4月1日(金)、ケイテック第11期生となる6名の新入社員を迎え入社式が執り行われました。当日は課長以上も出席し、新しい仲間への歓迎ムード一色となりました。

入社式冒頭で高橋社長からは『会社というところは、先輩が皆さんに教えるという事はしません。教わるのではなく自らが自身で気づき、自身で啓蒙し、自ら成長を遂げようとする強い意志の持ち主にのみチャンスがおとずれる。そして、機微をよみ、機転を利かせ、臨機応変に動けるようにならなければなりません。皆さんは今日からケイテック社員であると同時に、皆さん自身がケイテックの顔となります。ケイテックと書かれた看板を背中に背負っている状態です。ケイテックの企業理念、行動指針における価値観をしっかりと身に着け、皆さん一人ひとりが振る舞うことでケイテックの企業価値が築かれて行きます。』との社会人としての心構えや『今まさに転換期を迎えている私たちとこれから始まるブランド創出に向け、ケイテックがやるべきこと、ケイテックにしかできないことを考え、お客様に一つ一つのクオリティを大切にお届けすること。その積み重ねがお客様の心を動かし、やがて、熱烈なファンが生まれ、ファンがまたファンを引き付ける。そんな素晴らしいケイテックの新たな姿、私たちのブランドが世界中で使われている風景を共に叶えて行きましょう。今日から皆さんは私たちの仲間です。ようこそ、ケイテックへ!』と新しく加わった仲間へ期待のこもった歓迎・激励のご挨拶がありました。



次に、先輩社員代表として第3期生代表者より、「私は仕事に携わるうえでの心構えとして、『自分のいま出来る事を精一杯取り組む』を実践してきました。『初めから全て完璧に熟せる人はいません。皆さんには失敗を恐れずいまの自分に出来る事、しなければならないことを常に意識しながらこれからの社会人生活を過ごしてください。』とエールが送られ、



続いて、新入社員代表者からの答辞として「企業理念」と「行動指針SCC」を胸に刻み、実践し、日進月歩で成長していき、貪欲に全身全霊で取り組んで参ります」と力強い誓いの言葉がありました。

また自己紹介の場面では、一人ひとりが「社員としての抱負」を掲げ、積極的にアピールしながらも初々しい一面が印象的でした。同席した先輩社員からは温かい歓迎の拍手の中、式典は滞りなく執り行われました。

場所をエントランスに移し、恒例の記念撮影、並びに、記念植樹を行い、6名の皆さんは緊張しながらも微笑ましく輝かしいスタートとなりました。



第二部 入社式に続き 『記念講演』 開催

宮下 篤志 教授 （立教大学 ビジネスデザイン研究科）

そして、今年は新入社員と係長以上の社員を対象として、社外からご来賓をお迎えし記念講演を開催。経営戦略論、オペレーション・マネジメントの研究に携わっておられる立教大学ビジネスデザイン研究科の宮下教授をお招きし、ご高話を頂戴しました。先生は論文はもとより執筆活動やコンサルタントと幅広くご活躍中です。

冒頭、宮下教授より新入社員に対し『これから社会人として色々な苦難があると思います。苦難を如何に正面から受け止め忍耐出来るか。忍耐は練達に変わり、練達を続ければ希望になります。あきらめない事、そして、楽しむことが必要。是非頑張ってください』と祝辞を頂き、『ケイテックが進化し続けようとしている現実決して簡単な事ではないが、単なる中小企業で終わらず挑戦をしようとしている。ケイテックは可能性のある類まれな企業だと思っている。そして、その進化を野村会長や高橋社長がリードしているが、やがては、新入社員をはじめここにいる社員全員がその気になって引っ張っていかないと成り立たない。夢の実現に向けて是非頑張ってください。』とケイテックに向けた熱いメッセージとこれからの担う新入社員に向け大きな期待を込めたご講演となりました。宮下先生、心温まるご高話大変ありがとうございました。



新社員の皆さん

ケイテックの将来を担う人材として、色々な事にチャレンジし、オンリーワンの技術を身に付け大きく羽ばたいて頂ける様、これからの活躍を期待しています。ようこそ、ケイテックへ！